

# 新潟民商

新潟民主商工会  
新潟市中央区沼垂西3丁目10-14  
電話 (243) 0141

22年10月10日

## 市民・中小業者本位の市政への転換を

10月9日告示、23日投票の新潟市長選挙。マスコミは「争点がない」などと報じていますが、そんなことはありません。

篠田市政は大型開発やBRTなどの無駄づかいに終始し、市債を大きく増やしました。現市政はそこにメスを入れるどころか、さらなる大型開発などを推し進めています。

この間、何度も中小業者への「直接支援制度の創設」や国民健康保険料の減免、事業主への傷病手当制度などを求めてきましたが、新潟市は「財源が無い」と重い腰を上げません。しかし財源が無いのではなく、実態はお金の使い方が間違っているのです。

この市長選挙で市長が変われば確実に市政は「市民・中小業者のための市政」へと変換できます。

私たちの営業とくらしを守るための大事な選挙です。一人でも多くの市民に訴え、市政を変えるために奮闘しましょう！

### インボイス制度中止！消費税引下げ！

#### 本町宣伝行動

新潟民商も参加する消費税廃止新潟県各界連絡会は1日、中央区本町十字路で「インボイス制度中止！消費税引下げ！」の宣伝行動を行ない、各団体より15名が参加し、署名用紙とポケットティッシュを入れた袋を配布しました。

渡部新商連会長や農民連、県

労働に青年などが道行く人々にインボイス制度廃止や消費税の税率引き下げなどを訴えました。また行動にはすぎ映さんも参加し、新潟市政の現状と転換する必要性を訴えました。



### 日程

- ・ 日本母親大会 10月15・16日
- ・ 全婦協総会 10月23日
- ・ 新潟市長選投票日 10月23日

### 同業種交流会・建築業部会を開催

#### 情報交換・共有し、今後の計画

9月27日、同業種交流会の開催に向け、市橋雅彰副会長を筆頭に建築業経営の会員3名が集まりました。

「工口住宅の説明義務、アスベストの事前調査などをはじめ大手企業を優遇する様々な義務を強いられる」「材料の高騰や低迷する賃金の問題など課題は多い」などの悩みについて交流。また、政府が標準的な新築住宅にしようとしている「ZEH（ゼッチ）（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスの略）」は高いレベルの高断熱高気密の施工が求められ、システムも複雑で中小企業での対応が難しいなど建築業者ならではの悩みなども話されました。参加したAさんは「始めは愚痴の言い合いでもいいと思う。集まって話し合っているうちに今後の方向は決まっていく」と集まりの開催を重ねる事が大切と話しました。次回は11月に集まりを開催する予定です。



### 年間収入見込み3割減が対象

#### 国保・介護保険減免制度

#### 要件

- ①世帯の主たる生計維持者の収入が前年に比べて3割以上減少する見込みであること
- ②前年の所得の合計額が1000万円以下であること
- ③収入減少が見込まれる所得以外の所得（雑所得など）の合計額が400万円以下であること

#### 対象期間

R4年度分保険料のうち納期限がR4年4月1日からR5年3月31日までのもの

#### 必要書類

- ①減免申請書
- ②収入見込額等申告書
- ③R3年分の「確定申告書の控え」や「給与明細書」
- ④R4年1月から申請月直近までの収入が確認できる書類（売上台帳や給与明細など）

#### 申請期限

R5年3月31日まで

※ 納入したR4年度分の保険料が減免された場合は還付されません。

※ 前年の所得が0円以下の場合には対象となりません。

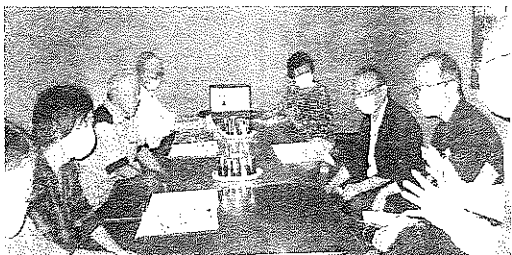
## 制度を学び会員同士の交流を深める 「インボイス学習会・東山ノ下支部」

東山ノ下支部では30日、レストハウス青柳でインボイス学習会を開催し8名が参加しました。

全商連が作成した動画を視聴後、さらにインボイスとはどんな制度なのか資料をもとに説明しました。参加者から「売上が少ない（免税点以下）事業者でもインボイスに登録すると課税業者になり消費税を払わないといけないのはとても理不尽」との声が上がりました。

参加者の業種が様々なこと、消費税の課税業者・非課税業者であることの違いから、参加者同士でもお互いに質問が飛び交いました。またインボイスの話題の他にペイペイなど電子決済について、実際それを活用している会員へ質問が出されました。

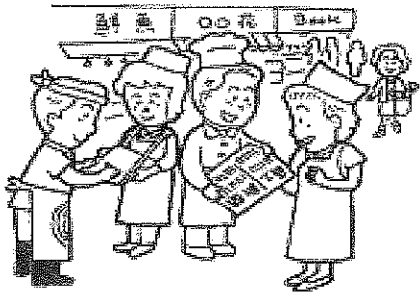
集まりに初めて参加した会員は「地域でどこのお店が会員かということを知れて良かった。今度行ってみます。」と会員同士の交流も深める学習会となりました。



## 「辛苦労様。チラシ読んでみますよ」 「声を集める訪問活動・駅前支部」

駅前支部では29日、副支部長の小池さん（蓬莱）を先頭に宣伝行動を行いました。

飲食店は丁度仕込みで忙しい時間帯でしたがチラシを配って回った訪問先では「わざわざご苦労様です。チラシ読んでみます。相談事があったら連絡しますね。」などと歓迎されました。



また居酒屋を営む会員さんからは「予約が入っても日々のコロナの状況により予約日直前でキャンセルが入ることが多くなってとても大変！給付金などでなんとかしのいでいるがこの先が不安」などの声が聞かれました。焼肉店の会員さんからは「今年度の申告から消費税の支払いが始まるが自分の商売でインボイスが必要なのか分からない」などの声も聞かれました。

このことを受け駅前支部では今後も繰返しインボイス制度の学習会を開催して行きます。

## 3年ぶりの開催に50名超が参加 「青年部主催・婦人部共催BBQ」

10月2日に青年部主催・婦人部共催のBBQ大会が阿賀野川ふれあい公園で開催され、会員家族含め52名が参加しました。

青年部・中村浩部長と婦人部・和合部長のあいさつで開会。市橋雅彰副会長が開催にあたっての留意事項を説明しました。

続けて食べ物が焼き上がるまでの間、参加者の自己紹介を行いました。前回の焼き手の人員不足問題も今回は実行委員以外で率先して引き受けてくれる参加者も現れるなどの良い変化も。

また今回も婦人部のパン作りは好評で前回よりも多く用意したパンの生地はあっという間に無くなる人気ぶり。パンを楽しみにしていたという家族もいました。

市長選候補者の鈴木映さんも駆けつけあいさつ。今の新潟市に必要な政策について訴えを行いました。最後は中村部長のあいさつで閉会されました。



## 家族揃って健康で商売を続けよう 大腸がん検診を受診しよう

新潟民商共済会では、今回で24回目を迎える大腸がん検診を11月初旬に実施します。回収日・場所については、各支部で作成した案内チラシが商工新聞に折り込まれますので、そちらを参照してください。

昨年は、共済役員の活躍も空しく検診受診者を大きく減らしてしまいました。今年はさらなる訪問・声掛けで受診者の増加を目指します。また今年共済会から「マスクケース」のプレゼントもありますので、より足を踏み出しやすい環境となっています。

近年、大腸がんを原因とする死亡が急増しています。大腸がんは、早期に見つければかなりの確率で治ります。各支部・班で声を掛けあい、1年に1度は受診するようにしましょう。

